

はまゆう仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成16年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約80~106㎡/缶
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100㎡/缶</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106㎡/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	約7㎡/缶

・灯油

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25㎡/セット)

<主な施工道具>

- ・リシンガン(口径 4~6mm)※
- ・マスチックローラー (ジョリパットローラー JR-20 : 9インチ) 又は、
金ゴテ
- ・はまゆうローラー (ジョリパットローラー JR-61 : 7インチ)
- ・ヘッドカットローラー (平面用：ジョリパットローラー JR-26)
(隅用：ジョリパットローラー JR-27)
- ・コンプレッサー(3馬力以上：1台使用の場合)※

※下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

<下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

<はまゆう仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-410</u>	<u>15kg</u>
<u>塗布量</u>	<u>0.15~0.2kg/m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

1" JS-800の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-800</u>	<u>16kg</u>
<u>塗布量</u>	<u>0.15~0.2kg/m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	<u>JQ(W)-650シリーズ</u>	20kg
	清 水	3~4kg
塗布量	約1.0kg/m ²	
使用ガン	リシンガン口径φ4~6mm	

※左官業者の場合は、JQ-650を無希釈で
1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布
する。(下ごすり)

JQ(W) 650-52-01
(JQ(W) -650 はまゆう)

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

<塗装業者の場合>

- ・ マスチックローラーにて JQ(W)-650 が約 2.0kg/m² となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)

<左官業者の場合>

- ・ 金ゴテにて JQ(W)-650 が約 2.0kg/m² となるよう均一に配り塗りする。

4. パターン付け

追いかけ (5分以内)

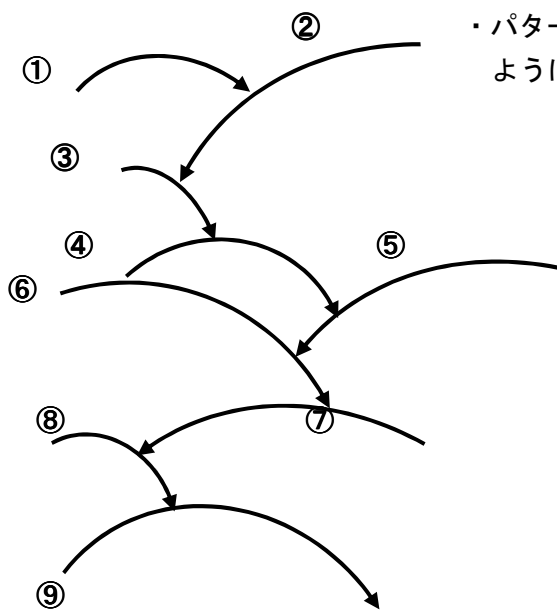
- ・ あらかじめ水に浸して絞り湿らせたはまゆうローラー (中毛ウールローラー) JR-61 にジョリパットを含ませる。次に配り塗りした JQ(W)-650 が乾燥しないうちに、JR-61 ローラーで弧を描く様にランダムにパターン付けをする。(図-1)

5. ヘッドカット (押さえ)

追いかけ (5分以内)

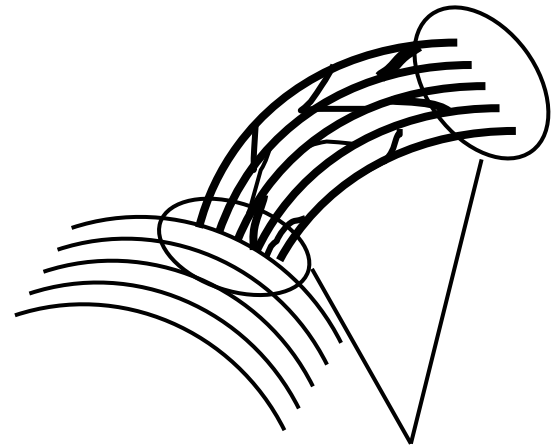
- ・ ヘッドカットローラー JR-26 (平面用) や JR-27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、JQ(W)-650 模様の表面をカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

<施工のポイント>



・パターンの端が重なるように施工して下さい。

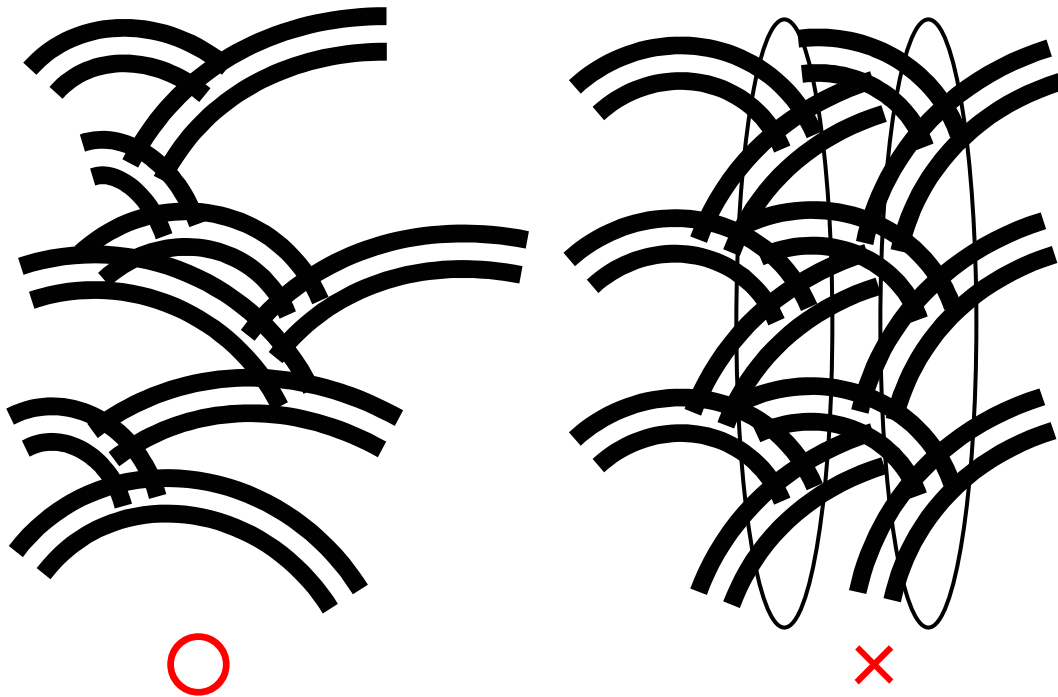
ローラーの動きの一例



この部分のパターンが重なるようにパターン付けを行う。

図-1

- ・はまゆうローラーがあまり回転しないようにして線を出す。ローラーを引きずるような感覚でパターンを付ける。
- ・はまゆうのパターン付けは、大きい弓状模様と小さい弓状模様がたくさん重なりあうように組み合わせる。
- ・はまゆうローラーは常に上から下方向に転がし、弓状模様をランダムに付ける。(矢印の動き)
- ・パターンが規則正しくならないよう注意する。



パターンの谷が揃わない
よう注意する。

図-2

JQ (W) 650-52-01
(JQ (W) -650 はまゆう)

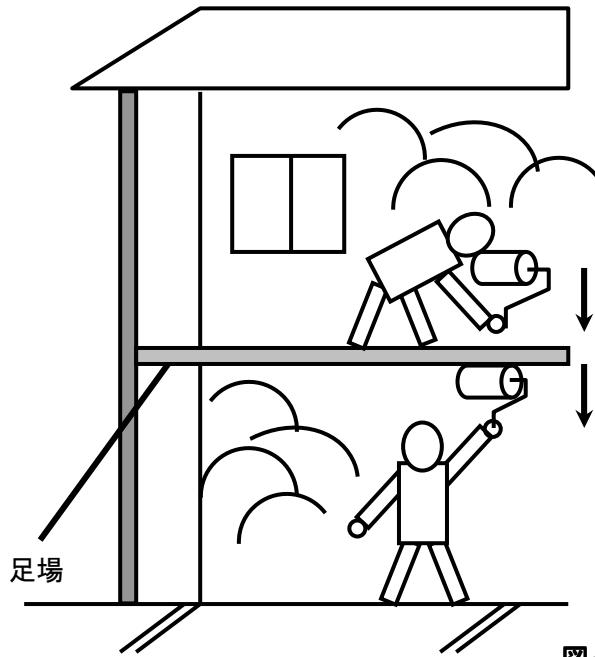
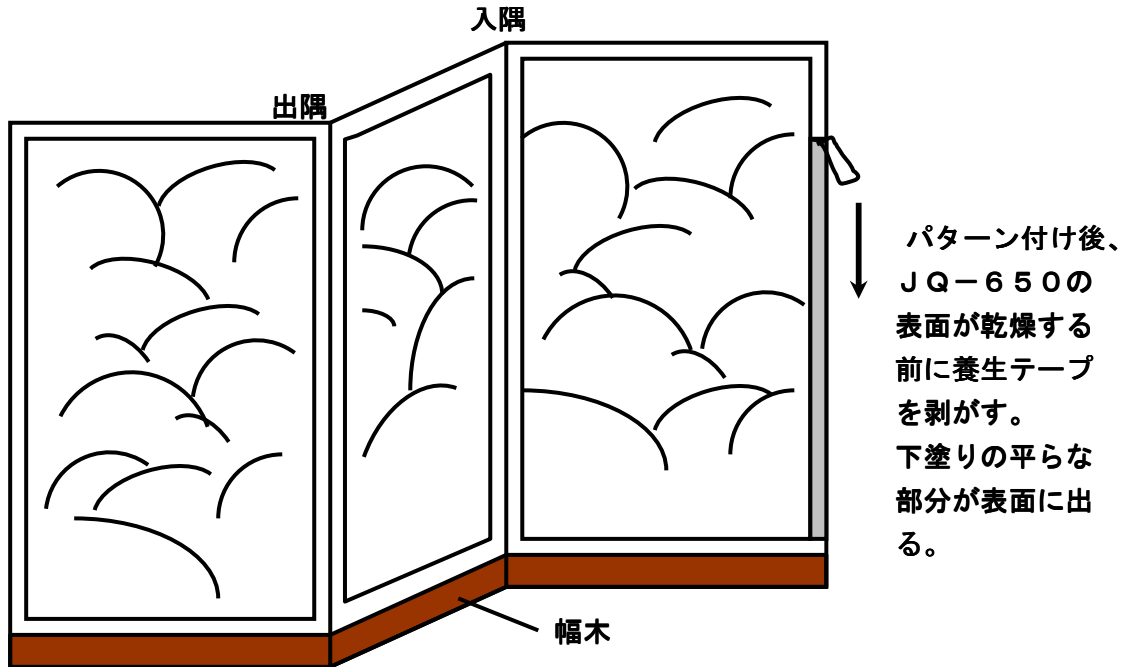


図-3

足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、
足場の上と下で時間をあけないよう
2～3人で組んで施工して下さい。
JQ-650の表面が乾燥して皮が
はる前にパターンをつないで下さい。
(皮ばり後にパターン付つなぎを行
うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

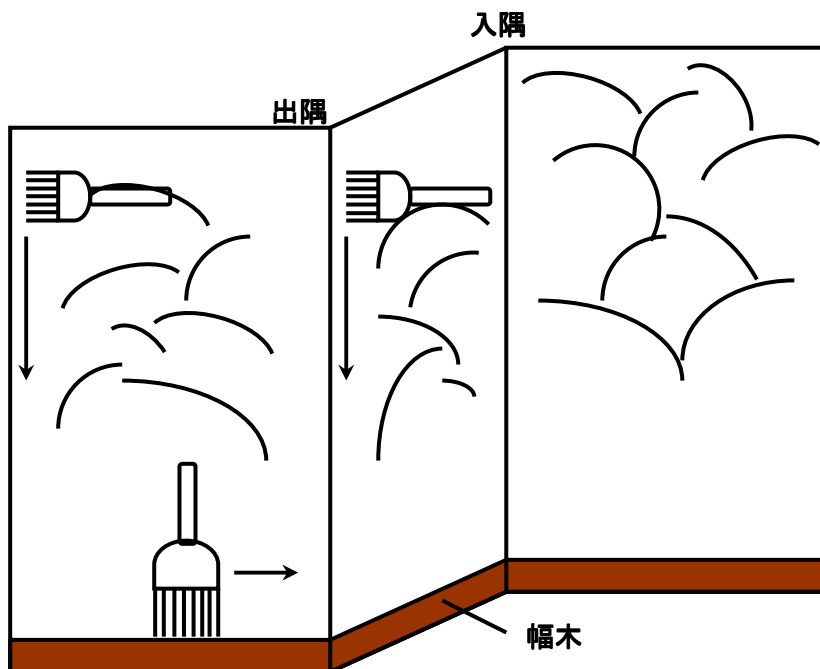
〇入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるか JQ-650 が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図-4）



化粧目地をとる工法

JQ-650 を下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図-4

・大面積を施工する場合、JQ-650の表面が皮ばりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫する。(図-5)

(例)

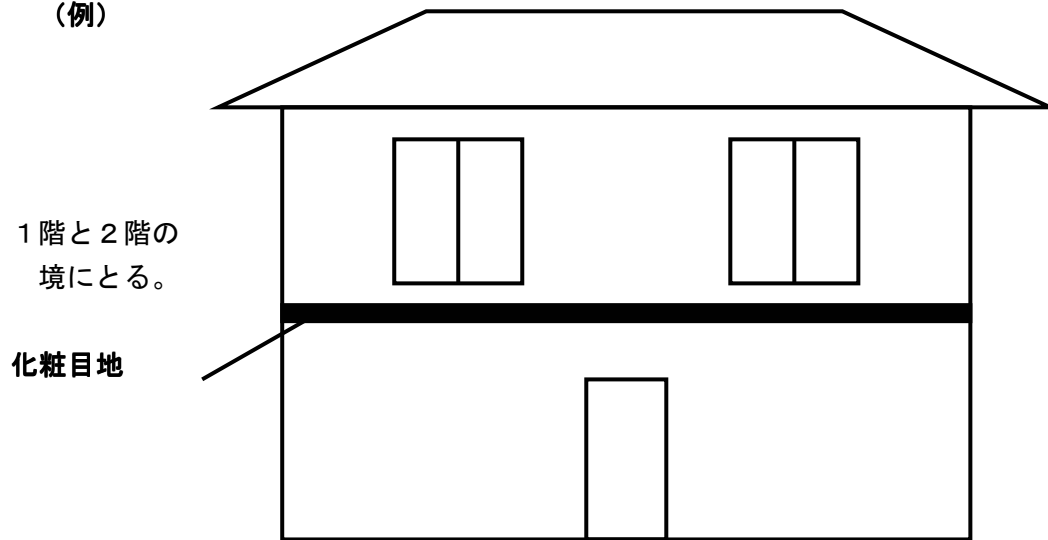


図-5

<施工の注意事項>

- ・配り塗りはできるだけ均一にする。(パターンを均一にする為)
- ・塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。
- ・はまゆうローラーJR-61 (パターンローラー) にもジョリパットを充分含ませる。
- ・ヘッドカットローラーは、力を入れず上から下へ軽く転がす。(強く押さえると模様が潰れてしまいます。又、下から上へカットローラーを転がすと模様が逆立ってしまいます。)
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上